



[佐藤さん](#)

＜写真をクリックすると大きくなります。＞

今年米寿を迎えた南伊豆町蛇石に住む佐藤貞夫さんは毎日奥さんと一緒に桜葉の出荷に精を出しておられます。

松崎町に生まれ15歳の頃、浜松などで空襲や機銃掃射の標的となる経験をした佐藤さんは戦後蛇石で農業を始めました。夏の桜葉の配達がある日は5時起き。そうでない日はお昼の休憩を除いて8時から16時半まで桜葉の収穫や農作業に励んでいるそうです。耳は少々遠くなったけれど腰痛など全く無く元気そのものだそうです。昔、研究熱心な佐藤さんは毎日農業日誌を付けてデータを提出し農林大臣から二度にわたって感謝状を授かった他、うどんこ病の研究者が博士号を取るのに貢献したこともあるそうです。



[無題](#)



[1486189815](#)

和菓子に欠かせない桜葉の生産で静岡県は日本一を誇ります。中でも伊豆松崎町は日本の生産の70%を占めます。塩漬けにすると何とも言えない良い香りを発する桜葉はオオシマザクラから採ります。



[IMG 4440](#)



[1988bb6e64d6b6c86ae5747ed0ae2f67](#)

松崎町と南伊豆町の境界が蛇石峠。南伊豆町側の緑豊かな山あいには蛇石地区があります。地名の由来は川に突き出した蛇に見える岩(写真右上)です。



[IMG 4483](#)



[IMG 4442](#)

南伊豆町の北西に位置し標高約140メートルの蛇石地区は桜葉の栽培に適しているそうです。桜葉の畑(写真右上)は背丈は2m以下。昔は山に自生していたオオシマザクラを炭にする為切り倒し、翌年出てきた新芽を採っていたそうですが、今は畑に植えられています。



[IMG 4456](#)



[IMG 4455](#)

オオシマザクラはほんの数センチに切り詰められた株から目を出し毎年5月から9月まで収穫が出来るそうです。



奥様

奥様の千尋さん(82歳)は脳梗塞を患ったもののリハビリに励み、今では夫婦と一緒に農作業ができるようになりました。「息子は定年退職を迎え、地元に戻ってきてくれた。孫も一緒に3世代同居で地域を盛り上げてくれることがとても嬉しい。孫はネットを使って自分達が育てた自慢のミカン、デコポン、ポンカンなどを販売してくれる。」ととてもお元気でお幸せそうでした。佐藤さんご夫妻は毎週木曜日にグラウンド・ゴルフを楽しんでおられるそうです。
読者の皆様、健康長寿の秘訣を感じて頂けましたか？

取材：生きがい特派員賀茂地区担当 福居通彦